

各 位

2023年3月20日
株式会社インプレス

リスクリングに最適な1冊
『社会人10年目のビジネス学び直し 仕事効率化&自動化のための Excel 関数虎の巻』
を3月22日（水）に発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亨）は、Excel関数のリスクリングに最適な書籍『社会人10年目のビジネス学び直し 仕事効率化&自動化のための Excel関数虎の巻』を2023年3月22日（水）に発売いたします。



■社会人10年目で、なんとなくExcel関数を使っている人のための「学び直し」

リスクリングやリカレント教育の必要性が高まっている昨今、Microsoft Excelに関する「学び直し」をしたいという方も多いことでしょう。例えば、「入社後の研修や独学で一度は学んでみたものの、10年経ったら我流になってしまった」「結局、長い間、なんとなく感覚で使い続けている」と、そんな経験を持つ社会人の方は意外と多いのではないのでしょうか？

本書では、「社会人10年目」を迎えたあたりのビジネスパーソンで、上記のような悩みを持つ方をターゲットに制作された書籍です。ビジネスの世界では「必須スキル」とも呼ばれるExcelをもう一度再習得したい方に向け、使用頻度の高い「関数」にフォーカスを当てました。Excel関数の仕組み、効率の良い入力方法、実務でよく使う関数を総点検し、基本からおさらいできます。各記事にはExcel関数のサンプルデータ（80本）が付いているので、動作確認しながら効率よく学び直せるのも特徴です。

仕事の効率をグッと上げてくれるExcel関数を、本書でもう一度おさらいしてみませんか。

■カラフルな図解と引数の色分けがわかりやすい

本書は全ページがフルカラーで構成され、見た目にもわかりやすい紙面となっています。また、豊富な図解によって仕組みが理解しやすいのはもちろん、各関数で使用する引数も6色に色分けしており、今どの引数を扱っているのかを的確に確認できるよう工夫されています。

■紙面イメージ

Lesson 15 基本のキ。集計を行う SUM関数をおさらい

いよいよ実際に関数を使っていくんですね。最初は何の関数から行くんですか？

SUM関数からおさらいしていきますよ。シンプルな分、いろいろなスタイルを試せる関数なんです。

引数に指定した値や範囲の合計を求める (Sample 15_SUM関数.xlsx)

作成した一覧表のうち、任意のセル範囲の値を合計したり、飛び飛びの位置のセルの値を合計するには、SUM関数を利用します。

A	B	C	D	E	F
1	支店別販売数量	単位	値		
2			4月	5月	6月
3	支店A	小計	83,400	112,200	89,200
4		商品A	28,000	31,500	31,500
5		商品B	30,600	41,700	23,400
6		商品C	24,800	39,000	28,200
7	支店B	小計	87,400	78,200	81,800
8		商品A	31,200	32,100	32,900
9		商品B	13,200	31,800	28,800
10		商品C	43,000	14,300	18,100
11		小計	178,800	194,400	171,000

特定のセル範囲に入力されている値を合計する

SUM関数の引数

- 数値1.....合計したいセル範囲や値
- [数値2,].....[数値1]の他の合計したいセル範囲や値

引数にはセル範囲をまとめて指定可能

SUM関数は、引数にセル範囲を指定すると、セル範囲内のセルに入力されている値を全て合計し、戻り値として返します。セル範囲の指定方法は、
=SUM(起点セル:終端セル)

の形で。起点セルと終端セルの間のセル範囲が計算対象となります。

個別のセルを複数指定することも可能

SUM関数は、2つ以降の引数に、合計したいセルやセル範囲を続けて指定することも可能です。

次図では、セルD4とセルD8の2つのセルをそれぞれ、別の引数として指定し、合計を算出しています。

C	D	E
3	4月	
4	小計	=SUM(D5:D7)
5	商品A	28,000
6	商品B	30,600
7	商品C	24,800
8	小計	87,400

起点セル
終端セル

合計を求めたいセルが離れた位置にある場合は、個別のセルを2つ以降の引数に指定

Tips 「+」で足していくのはダメなの？

「SUM関数って結局足し算ですよね。"=D4+D8"と入力するんじゃないかなの？」と聞かれることがあります。その答えは「ダメではないけど、[SUM]があった方が「ここは合計を求めたいんだ」と意図が伝わりやすいです」。関数名は後から見た時に、「どういう意図で何を計算するつもりなのか」まで伝えられる仕組みというわけですね。

よく使う関数を基本からおさらい。仕組みから理解できる

Lesson 18 「本店の商品A」や「4月中」のデータを集計

1つの条件だけではなく、複数条件を指定して合計したい場合はどうすればいいでしょうか？

SUMIFS関数を利用して複数条件を指定して、その全てを満たすデータだけを合計できます。

複数の条件を全て満たすデータのみ集計 (Sample 18_SUMIFS関数.xlsx)

「本店での商品Aの売り上げを求めたい」「4月10日～20日の期間の売り上げを求めたい」というような、**2つ以上の条件を満たす合計**を求めたい場合には、SUMIFS関数が利用できます。

A	B	C	D	E	F	G	H
1	販売履歴表	単位	円				
2	販売日	店舗	商品	販売額	本店の羊羹	93,500	
3	4月4日	本店	羊羹	24,800	4月中	178,800	
4	4月10日	掛川支店	たいやき	31,500	羊羹とたいやき	367,000	
5	4月12日	掛川支店	わらび餅	13,200			
6	4月18日	本店	たいやき	28,000			
7	4月18日	掛川支店	羊羹	42,700			
8	4月29日	本店	わらび餅	30,600			
9	5月4日	掛川支店	たいやき	32,100			

複数の条件を満たすデータのみを集計したい場合はSUMIFS関数が便利

SUMIFS関数の引数

- 合計対象範囲.....合計対象のセル範囲
- 条件範囲1.....判定を行うセル範囲。1つ目
- 条件1.....条件となる値や式。1つ目
- [条件範囲2,条件2,.....].....2つ目以降の判定セル範囲と条件式

まず計算したい範囲を指定し、その後条件をセットで列記

引数は、まず、合計対象範囲を指定し、その後、条件範囲と条件をひと組のセットで考えて列記していきます。

つまり、最初に合計したい数値の列を指定したら、その後は2つの引数を1セットとして考え、条件の数だけ付け加えていきます。

=SUMIFS(合計対象範囲, 条件範囲1, 条件1, 条件範囲2, 条件2)

合計したい数値のセル範囲 | 1つ目のセット | 2つ目のセット

「合計対象範囲・セット1つ目・セット2つ目……」です。合計の対象となるのは、全てのセットの条件を満たすデータとなります。

=SUMIFS(E4:E21,C4:C21,"本店",D4:D21,"羊羹")

合計対象範囲: E4:E21 (販売額)
条件範囲1: C4:C21 (店舗)
条件1: "本店"
条件範囲2: D4:D21 (商品)
条件2: "羊羹"

セット1: 店舗が「本店」、セット2: 商品が「羊羹」の合計を求める

=SUMIFS(E4:E21,B4:B21,">=2023/4/1",B4:B21,"<2023/5/1")

合計対象範囲: E4:E21 (販売額)
条件範囲1: B4:B21 (販売日)
条件1: ">=2023/4/1"
条件範囲2: B4:B21 (販売日)
条件2: "<2023/5/1"

セット1: 販売日が「4/1以降」、セット2: 販売日が「5/1より前」、つまり、「4月中」の合計を求める

●○○もしくは××という条件「ではない」点に注意

SUMIFS関数は、指定した条件を「全て」満たすデータを合計します。「いづれか」ではない点に注意しましょう。「商品が「羊羹」もしくは、商品が「たいやき」というような条件は指定できません。

「羊羹とたいやきの合計」を求めたい場合は、羊羹用のSUMIFS関数と、たいやき用のSUMIFS関数の2つの式を別途作成し、戻り値を合計したり、条件判定用の作業列を別途用意したりする等の方法で求めましょう。

Tips 全てSUMIFSで行うというスタイル

SUMIF関数とSUMIFS関数はよく似ていますが、引数の順番が微妙に違います。使い分けようとするとうまく混同するため、条件式が1セットのみでもSUMIFS関数を使ってしまおうというスタイルもお勧めです。これなら混乱しませんね。

全ページフルカラー。図解と引数の色分けによって理解しやすい

■本書は以下のような方におすすめです

- ・ 研修や独学で一通り学んだが、なんとなく10年経ってしまった人
- ・ いつのまにか、我流になり、感覚的に使っている人
- ・ 最近のアップデートについていけない人
- ・ リスキリング・リカレントの一環として最初に手に取る1冊が欲しい人

■サンプルデータを80本無償提供

本書で解説するExcel関数の動作確認ができるサンプルデータを80本無償提供しています。本書のサポートページよりダウンロードしてご利用ください。

<https://book.impress.co.jp/books/1122101141>

■本書の構成

- 第1章 関数の仕組みをおさらいしよう
- 第2章 効率のよい関数の入力方法
- 第3章 集計と傾向分析のための関数
- 第4章 時間や期間を計算する関数
- 第5章 データをきちんと整える関数
- 第6章 注目データを見つける関数
- 第7章 自動化計算のための関数

■書誌情報



書名：社会人10年目のビジネス学び直し 仕事効率化&自動化のためのExcel関数虎の巻

著者：古川順平

発売日：2023年3月22日（水）

ページ数：224ページ

サイズ：A5判

定価：1,650円（本体1,500円＋税10%）

電子版価格：1,650円（本体1,500円＋税10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-01621-2

◇Amazonの書籍情報ページ：

<https://www.amazon.co.jp/dp/4295016217>

◇インプレスの書籍情報ページ：

<https://book.impress.co.jp/books/1122101141>

◇書影ダウンロード：<https://dekiru.net/press/501621.jpg>

■著者プロフィール

古川順平（ふるかわ・じゅんぺい）

富士山麓でExcelを扱う案件中心に活動するテクニカルライター兼インストラクター。Excelに関する著書には、『ExcelVBA [完全] 入門』『Excel マクロ&VBA やさしい教科書』『かんたんだけどしっかりわかるExcelマクロ・VBA入門』（以上SBクリエイティブ）、共著・協力の『Excel VBAコードレシビ集』（技術評論社）、『スラスラ読める Excel VBAふりがなプログラミング』（インプレス）等。趣味は散歩とサウナ巡り。

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 7,500 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「DIGITAL X」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL: <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。